Victor DVD プレーヤー XV-P313

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前に
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

リージョン番号（ローカル番号）について
DVD ビデオの場合、リージョン番号表示に「ALL」または番号「2」が含まれているディスクに限り再生することができます。
再生が可能なリージョン番号表示の例：

リージョン番号は、国や地域ごとに割り当てられた番号です。ディスクのジャケットもご参照ください。

テレビ方式について
本機は日本やアメリカなどのテレビ方式である NTSC 方式に適合しています。NTSC 方式以外のテレビ方式（PAL 方式など）で収録されたディスクは、NTSC 方式に変換して再生します。

付属品：同梱の付属品をお確かめください。
リモコン（1 個）
電池（単 3 形乾電池：2 本）
オーディオ / ビデオコード（1 本）

商標と著作権
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTS および DTS Digital Out は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVD ビデオのロゴは商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- 各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でもこれを十分尊重いたします。

GNT0059-003B[JP]

安全上のご注意ーはじめにお読みください

製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ず守っていただきたいことを説明しています。お使いになる前に、よくお読みください。

⚠警告 「人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される」内容

⚠注意 「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意をうながす記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号：一般的指示、電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。（電源プラグを抜く）
- 煙が出ている、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。（分解禁止）
火災や感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。（一般的指示）
差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

風呂場やシャワー室では使用しない。（水場での使用禁止）
本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。（禁止）
通風孔などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。（禁止）
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
特に、次のことに注意してください。
- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない。
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは定期的に清掃する。（一般的指示）
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。（禁止）
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。
こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。（接触禁止）
感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する。（禁止）
表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。（禁止）
頭からかぶると窒息の原因となります。

電池は放置しない。（禁止）
電池を取り外したときは、幼児の手の届かないところに置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

設置場所に注意する。（禁止）
次のような所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たる所や、熱器具の近くなど高温になるところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。（禁止）
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭いところに押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。（禁止）
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。（ぬれ手禁止）
感電の原因となることがあります。

本機の上に重い物を置かない。（禁止）
テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。（電源プラグを抜く）
電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。（電源プラグを抜く）
電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。（電源プラグを抜く）
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。（一般的指示）
突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に、接続したテレビやアンプの音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。（一般的指示）
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。

ディスク挿入口に、手を入れない。
けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

故障などを防止するため次の場所は避けてください。
- 風通しの悪い狭いところ
- バランスの悪い不安定なところ
- 寒暖の差が激しいところ
  本機の使用環境温度は5˚C〜35˚Cです。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となります。
- 磁気を発生するところ
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 振動の激しいところ

本体のお手入れは
パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは、水で布をしめらせるか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとで**からぶき**してください。
ご注意
シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを損なうおそれがあります。

再生できるディスク

- DVD ビデオ、オーディオ CD、ビデオ CD、スーパービデオ CD
- DVD ビデオモードで録画し、ファイナライズされた DVD-R/-RW、+R/+RW ディスク
- 以下のフォーマットで記録されたCD-R/RWディスク
  - オーディオ CD フォーマット
  - ビデオ CD フォーマット、スーパービデオ CD フォーマット
  - ISO9660 フォーマット（MP3/JPEG ファイルを再生するとき）

再生できるデジタル音声フォーマット
リニア PCM、ドルビーデジタル、DTS*

お知らせ
- ディスクの傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- 次のディスクは音声のみ再生することができます。CD-G（グラフィック）、CD-EXTRA（エクストラ）、CD TEXT（テキスト）、および MIX-MODE CD。
- ディスクによっては再生できない場合があります。

* DTS フォーマットで記録された DVD ビデオやオーディオ CD の音声を正しく再生するには、DTS デコーダー搭載機器を接続してください。

再生できないディスク
次のディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによって機器を破損することがあります。
- VR フォーマットで記録された DVD-R/-RW
- DVD オーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、CD-ROM、SACD、フォト CD
- ファイナライズ処理されていないディスク
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク（シェイプ CD など）

本機では、CD 規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CD を再生するときは、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠するディスクであることをお確かめください。（CDロゴマーク）

「デュアルディスク」の DVD 側でない面は、CD 規格（CD-DA）に準拠していないため、本機では再生しないことをおすすめいたします。

接続

接続時のご注意
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 本機の映像出力は、テレビ（またはモニター）と直接つないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、画像が乱れることがあります。

基本の接続

テレビ背面／S ビデオコード *（別売）／黄／白／赤／本体背面／付属のオーディオ / ビデオコード *

お知らせ
- テレビの音声入力端子がモノラル端子の場合は、別売のステレオーモノラル音声変換コードをお使いください。
- ハイビジョンテレビまたはハイビジョン対応テレビをお持ちの場合には、本機を D 映像端子で接続できます。D 映像端子で接続すると、プログレッシブスキャン方式でより良い画質をお楽しみ頂けます。

* S1 映像端子を使ってテレビと接続するときは、本機の D 映像出力端子はテレビと接続しないでください。

別売りのオプション品

品名		品番
• S ビデオコード	:	VC-S110E など
• D 端子コード	:	VX-DS110 など
• オーディオコード	:	CN-510E など
• 光デジタルケーブル	:	XN-110SA など

別売りのオプション品は、お買い上げの販売店にてお求めください。品番は変更されることがあります。

D 映像端子付きテレビと接続する

D 映像入力へ

スキャンモードを切り換えるには、**[プログレッシブ -VFP]** を 2 秒以上押します。

お知らせ
- プログレッシブスキャン方式をお楽しみ頂くためには、テレビの D 端子が D2 信号に対応している必要があります。
- D 端子を使ってテレビと接続するときは、本機の S1 映像出力端子はテレビと接続しないでください。

プログレッシブモード表示について

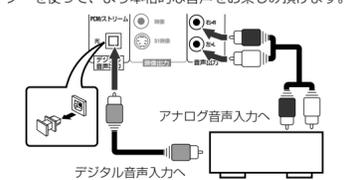
映像ソースの設定	ディスクの収録素材	
	フィルム素材	ビデオ素材
オート	[DDP]	[P]
フィルム	[DDP]	[DDP]
ビデオ（ノーマル）/（アクティブ）	[P]	[P]

お知らせ
プログレッシブスキャン対応テレビやハイビジョンテレビの中には、本機のプログレッシブスキャンに適合しないものがあります。テレビの映像が不自然に映るときは、スキャンモードを「インターレース」方式にしてください。

アンプなどとアナログ音声接続する

アナログ音声入力へ

アンプやデコーダーとデジタル音声接続する
ドルビーや DTS のデコーダー内蔵アンプや専用デコーダーを使って、より本格的な音声をお楽しみ頂けます。

アナログ音声入力へ／デジタル音声入力へ

お知らせ
- ディスクによっては音が出ない事があります。その場合はアナログ音声でお楽しみください。
- 音声メニューの「デジタル OUT」を、接続した機器の搭載デコーダーの種類に合わせて設定してください。詳しくは「初期設定を変更する」をご覧ください。

電源を入れる

電源コードをつなぐ
すべての接続が終わってから、電源コードを家庭用コンセント（交流 100V）にしっかりと差し込んでください。

リモコンを準備する
下図のように付属の単 3 形乾電池を入れます。
電池の極性（+、−）を間違えないように入れてください。

付属の電池は動作確認用です。操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。

ご注意
電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく。
- 電池を加熱または分解したり、火や水の中に入れない。
- 電池を交換するときは、古いものや違う種類の電池を混ぜて使用しない。

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよくふきとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

本機の電源を入 / 切するには
[電源] を押す
- 本体の [⏻/I STANDBY/ON] を押しても電源が切れます。

簡単セットアップを行う

お買いあげのあと、最初に電源を「入」にすると、テレビ画面に次のメッセージが表示されます。

画面と音声の基本設定を簡単セットアップで行いますか？
行うー決定ボタン　　行わないーキャンセルボタン

「簡単セットアップ」画面で、接続した機器に合わせて次の再生条件を設定します。

1 **[決定] を押す**

2 **[▲]/[▼] を押してテレビのタイプを選び、[決定] を押す**
- 通常のテレビと接続しているとき：
  「レターボックス」または**「パンスキャン」**を選びます。詳しくは「初期設定を変更する」にあります映像メニューの「TV タイプ」をご覧ください。
- ワイドテレビと接続しているとき：
  「16：9」を選びます。

3 **[▲]/[▼] を押してデジタル音声出力のタイプを選び、[決定] を押す**
デジタル音声接続しているアンプまたはデコーダーに合わせて設定します。（デジタル音声接続をしていないときは [決定] を押して設定を終えてください。）
- アンプまたはデコーダーにドルビーデジタルのロゴがついているが、DTS のロゴはついていない場合：
  「DOLBY DIGITAL/PCM」を選びます。
- アンプまたはデコーダーにドルビーデジタルと DTS の両方のロゴがついている場合：
  「ストリーム /PCM」を選びます。
- アンプまたはデコーダーにドルビーデジタルと DTS のどちらのロゴもついていない場合や MD レコーダーなどを接続している場合：
  「PCM のみ」を選びます。

もう一度「簡単セットアップ」を表示させるには
「簡単セットアップ」が表示されるまで [設定] を押し続けます。

基本操作

電源を「入」/「切」する

ディスクを入れる
1 **[▲] を押してディスクトレイを開ける。**
2 **ディスクトレイにディスクを入れる。**
- 8cm のディスクを入れる場合には、内側のトレイに入れてください。

3 **[▲] を押してディスクトレイを閉じる。**

ラベル面を上側にします。

リモコンの先端を本体前面のリモコン受光部に向けて操作します。（操作可能な距離は、リモコン受光部より約 5 m です。）

DD P　GROUP　TITLE　TRK　CHAP　Dolby D　DTS　RESUME　PROG　RND
マルチ情報表示部
- それぞれの機能やモードに合わせてインジケーターが点灯します。マルチ情報表示部には再生状態、再生経過時間などを表示します。

再生中に表示されるオンスクリーンガイドについて
- ▶：再生
- ⏸：一時停止
- スローモーション再生
- 早送り / 早戻し再生
- 複数のアングルが収録されている場面
- 複数の音声言語 / 音声が収録されている場面
- 複数の字幕言語が収録されている場面

オンスクリーンガイドが表示されないように設定できます。詳しくは「初期設定を変更する」にありますその他メニューの「オンスクリーンガイド」をご覧ください。

電源を入 / 切する

ディスクトレイを開閉する

基本操作

ボタン名	機能
►*	再生の開始 / 再開
■	停止 • 「リジューム」が「オン」または「ディスクリジューム」の場合は停止位置を記憶します。[►] を押すと停止位置から再生します。 完全に停止する場合にはもう一度 [■] を押してください。
▮▮*	一時停止 • [▮▮] を押すごとに、静止画のコマ送り再生ができます。
►►/◄◄	早送り / 早戻し (一時停止中) スロー再生 • 押すごとに、再生スピードが変化します。
►►I/I◄◄	次スキップ / 前スキップ • 押し続けると、5 倍速の早送り / 早戻し再生になります。
VARIABLE PLAY	(DVD) 1.2 倍または 1.5 倍速で早送り再生 (FAST)/0.8 または 0.6 倍速で順方向にスロー再生 (SLOW) ができます。 音声も字幕も消えません (DTS フォーマットを除く)。 (ビデオ CD/ スーパービデオ CD) 2 倍速で早送り再生 (FAST)/0.5 倍速で順方向にスロー再生 (SLOW) ができます。
↺	(DVD) 約 10 秒前に戻ってもう一度再生します (同タイトル内のみ)。

* 本体の [►▮▮] は再生 / 一時停止ができます。

表示窓の明るさを変える
[ディマー] を押し続けると表示窓の明るさが変化します。

取出し　電源　早戻し　早送り　表示切換　画面表示　トップメニュー　スロー　サムネイル/リスト　決定　メニュー　設定　前スキップ　再生/選択　次スキップ　チョット見バック　停止/クリア　キャンセル　リターン　タイトル/グループ　サウンドエフェクト　プログレッシブ　ディマー　VFP　アングル　字幕　音声　ズーム　スライドエフェクト　Victor

表示窓の表示を切り換える
[表示切換] を押すごとに表示窓の表示内容が切り換わります。

場面や曲を選ぶ
タイトル / チャプター / トラックの先頭にスキップできます。
DVD:
(停止中) タイトルを選択できます。
(再生中) チャプターを選択できます。
ビデオ CD/ スーパービデオ CD/ オーディオ CD:
トラックを選択できます。

「5」を選ぶ：**[5]** を押す。
「23」を選ぶ：**[2]** ➡ **[3]** と押す。
「40」を選ぶ：**[4]** ➡ **[0]** と押す。
- DVDの場合、[タイトル / グループ] を押した後に数字ボタンを押すと、タイトルを選べます。

メニューから再生する
DVD ビデオのメニューや、ビデオ CD/ スーパービデオ CD の PBC（プレイバックコントロール）機能 * を使って、見たいところを選べます。
* ビデオ CD/ スーパービデオ CD に記録されている、再生をコントロールするための機能です。

■ DVD
1 **[トップメニュー] または [メニュー] を押す**
2 **[▲]/[▼]/[◄]/[►] を使って見たい映像や項目を選び、[決定] または [► (再生 / 選択)] を押す**
- メニュー画面によっては、数字ボタンを押すだけで見たい映像や項目を選べます。

■ ビデオ CD/ スーパービデオ CD
1 **停止中に [トップメニュー] または [► (再生 / 選択)] を押す**
2 **数字ボタンを使って見たいトラックの番号を指定する**
「5」を選ぶ：**[5]** を押す。
「23」を選ぶ：**[2]** ➡ **[3]** と押す。
「40」を選ぶ：**[4]** ➡ **[0]** と押す。
- テレビ画面に「次」または「前」が表示されたときは、[►►I] または [I◄◄] を押すと次または前のページに移ります。
- メニュー画面に戻るときは、**[リターン]** を押します。

PBC を「切」にして再生するには
停止中に、見たいトラック番号を数字ボタンを使って指定します。
PBC を「入」にするには
- [トップメニュー] または [メニュー] を押します。
- **[■]** を押して再生を止めたあと、[► (再生 / 選択)] を押します。

便利な機能

音声言語 / 音声 / 字幕 / アングルを選ぶ
1 **ボタンを押す**
2 **ボタンをくり返し押すか、[▲]/[▼] を押して選びたい項目を選ぶ**
3 **[決定] を押す**

ボタン名	機能
音声	DVD: 音声言語を選びます。 ビデオ CD/ スーパービデオ CD: 音声を選びます。
字幕	字幕を選びます。
アングル	アングルを選びます。

サウンドエフェクトを切り換える
[サウンドエフェクト] を押すごとにサウンドエフェクト（音場効果）のモードが変わります。
- 数値が大きくなると、サウンドエフェクトの効果が大きくなります。

画面を拡大する
[ズーム] を押すごとに倍率が変わります。
- [▲]/[▼]/[◄]/[►] を押すと拡大したい部分を選ぶことができます。

通常の画面に戻すには、**[ズーム]** をくり返し押して 1 倍に戻します。

画質を切り換える (VFP)
VFP (Video Fine Processor: ビデオファインプロセッサー) 機能を使い、映像を観賞する部屋の照明やお好みに合わせて画質を選べます。
1 **[プログレッシブ -VFP] を押す**
2 **[◄]/[►] を使って VFP モードを選ぶ**

ユーザー 1　ガンマ 中　明るさ 0　コントラスト 0　色のこさ 0　色あい 0　シャープネス 低い　Yディレイ 0
現在選択されている VFP モード
設定項目

ノーマル	通常はこれを選びます。
シネマ	映画ソフトに向いています。
ユーザー 1 ユーザー 2	下記の手順でお好みの設定を調節し、記憶させることができます。

画質を調節する
1 **「ユーザー 1」または「ユーザー 2」を選ぶ**
2 **[▲]/[▼] を押して設定項目を選び、[決定] を押す**

ガンマ	中間色が明るい（暗い）ときに調節します。画面の暗い部分と明るい部分の明るさは変わりません。(低い / 中 / 高い)
明るさ	画像全体が明るい（暗い）ときに調節します。（− 16（最も暗い）〜 +16（最も明るい））
コントラスト	遠くの物と近くの物の位置が不自然なときに調節します。(− 12 〜 +12)
色のこさ	画像が白く（黒く）感じるときに調節します。(− 16（最も黒く）〜 +16（最も白く）)
色合い	肌色が不自然なときに調節します。（− 16 〜 +16)
シャープネス	画像がはっきりしていないときに調節します。(低い / 高い)
Y ディレイ	画像が離れていたり、重なっているときに調節します。(− 2 〜 +2)

3 **[▲]/[▼] を押して設定項目を調節し、[決定] を押す**
4 **手順 2 と 3 をくり返し、その他の設定項目を調節する**
5 **[プログレッシブ -VFP] を押して設定を終える**

ステータスバー、メニューバーを使う

さまざまな機能を呼び出すことができます。

ステータスバーやメニューバーを表示させる

ディスクが入っている状態で [画面表示] を 2 回押す。

入っているディスクの種類に対するメニューバーがステータスバーの下に表示されます。

例 : DVD のとき

DVD-VIDEO 8.5Mbps TITLE 33 CHAP 33 TOTAL 1:25:58
TIME OFF CHAP. 1/3 1/5 1/3

メニューバーとステータスバーを消すには、[画面表示] を押します。

基本操作

1 **[◄]/[►] を押してアイコンを選ぶ**

2 **[決定] を押す**

[決定] を押したあとに :

(1)[▲]/[▼] を押して設定したい項目を選び、[決定] を押す。

(2)数字を入れる項目が表示された場合には、数字ボタンを押したあとに [決定] を押す。

(3) TIME を変更する場合には、[決定] をくり返し押してお好みの設定を選ぶ。

お知らせ

- 選択された項目は緑色に表示されます。
- 本機の再生状態によって選べる項目が変わります。使用できる機能については以下の説明をご覧ください。

メニューバーの機能

TIME ステータスバーや表示窓の時間表示を切り換えます。

- TOTAL: タイトル (DVD) またはディスク (DVD 以外) の最初からの再生経過時間
- T.REM: タイトル (DVD) またはディスク (DVD 以外) の残り再生時間 (DVD 以外 : 停止中はディスクの総演奏時間)
- TIME: チャプター(DVD) またはトラック (DVD 以外) の再生経過時間
- REM: チャプター(DVD) またはトラック (DVD 以外) の残り再生時間 (停止中は、トラックの総演奏時間)

（リピート） リピートモード（くり返し再生）を選びます。

DVD: 再生中に
オーディオ CD: 再生中または停止中に
ビデオ CD/ スーパービデオ CD: 停止中または PBC オフで再生中に

- CHAPTER: 現在のチャプター (DVD)
- TITLE: 現在のタイトル (DVD)
- TRACK: 現在のトラック (DVD 以外)
- ALL: 全トラック (DVD 以外)
- A-B: A ポイントと B ポイントの間 (再生中のみ)。「A-B」を選んだあとに、くり返し再生を始めるポイントで [決定] を押し、終わるポイントでもう一度 [決定] を押します。
- OFF: リピートモードを解除します。

（時間指定） タイトルの先頭またはディスクの先頭からの時間を指定します。

DVD: 停止中または再生中に
オーディオ CD: 停止中または再生中に（プログラム / ランダム再生を除く）
ビデオ CD/ スーパービデオ CD: 停止中または再生中に（PBC/ プログラム / ランダム再生を除く）

CHAP. DVD の再生中に、見たいチャプターを指定します。

（音声） 複数の音声言語 (DVD)/ 音声 (ビデオ CD/ スーパービデオ CD) を持つディスクの再生中に音声を切り換えます。

（字幕） 字幕機能を持つディスクの再生中、字幕をなしにしたり、他の字幕に切り換えます。

（アングル） 複数のアングルを持つ DVD の再生中に、アングルを切り換えます。

PROG. 再生するトラックの順番を、最大 99 トラックまで自由に決めることができます。

- 停止中に操作します。
- DVD には使用できません。

1. **PROG. を選んだあとに、数字ボタンを使って再生したい順にトラック番号を選ぶ**
   プログラムの設定を変更したいときは削除したいところまで [▲]/[▼] を押して ☞ を動かし、[キャンセル] を押します。次のトラックの順番が繰り上がります。
   [■] を押すとすべてのプログラム内容が消去されます。
2. **[►(再生 / 選択)] を押して再生する**
   プログラム再生中はプログラムの内容を変更することができません。

- プログラム画面を消すには、[画面表示] を押します。

RND. すべてのトラックをランダム（無作為）な順番で一度ずつ再生できます。

- 停止中に操作します。
- DVD には使用できません。

RND. を選んだあとに、[決定] を押す

ランダム再生が始まります。

音楽・映像ファイルを再生する

本機は、CD-R/RW に記録された、MP3/JPEG の音楽・映像ファイルを再生することができます。

音楽・映像ファイルを再生する前に

- ディスクにファイルを記録するときは、ディスクフォーマットを「ISO 9660」にしてください。
- パケットライト方式（UDF ファイル）は使わないでください。
- マルチセッション数は 5 以内にしてください。
- ディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合もあります。
- 本機は、1 つの CD-R/RW につき最大 5 階層、250 グループまで、1 グループ内に最大 999 ファイル (再生できないファイルも含みます) までを識別し再生することができます。
- 正しい拡張子 (「.MP3」「.mp3」「.jpeg」「.jpg」) を付けてください（大文字小文字の混在も可）。
- MP3i や MP3 PRO ファイルは再生できません。
- 本機は解像度5120×3413以上のベースライン方式、または解像度 2048 × 1536 以上のプログレッシブ方式の JPEG ファイルは再生できません。

グループやファイルを選ぶ

コントロール画面からフォルダ (グループ) やファイルを選んで再生します。

コントロール画面

[▲]/[▼]/[◄]/[►] を押してファイルを選び、[►(再生 / 選択)] を押す

- [決定] を押すと、選んだファイルのみ再生されます (JPEG ファイルのとき)。

いろいろな再生をする

- 連続再生をする場合には、「NORMAL」を選びます。

くり返し (リピート) 再生する

1. 停止中に [▲]/[▼]/[◄]/[►] を押して再生モードにカーソルを合わせる
2. [決定] をくり返し押して再生モードを選ぶ
   - REPEAT 1: 選んでいるファイルを繰り返す
   - REPEAT GROUP: 選んでいるグループを繰り返す
   - REPEAT ALL: すべてのファイルを繰り返す
3. [►] を押してファイル欄にカーソルを合わせ、[►(再生 / 選択)] を押す

無作為な順番で再生する (ランダム再生)

1. 停止中に [▲]/[▼]/[◄]/[►] を押して再生モードにカーソルを合わせる
2. [決定] をくり返し押して「RANDOM」を表示させる
3. [►] を押してファイル欄にカーソルを合わせ、[►(再生 / 選択)] を押す

好きな順番で再生する (プログラム再生)

1. 停止中に [▲]/[▼]/[◄]/[►] を押して再生モードにカーソルを合わせる
2. [決定] をくり返し押して「PROGRAM」を表示させる
3. [▲]/[▼]/[◄]/[►] を押してファイルを選び、[決定] を押す
4. 手順 3 をくり返し次のファイルをプログラムする
   - 最後にプログラムしたファイルを消すには、[◄] を押してプログラムに登録されているファイルにカーソルを合わせ、[キャンセル] を押します。
5. [►(再生 / 選択)] を押す

いろいろな JPEG ファイルの再生をする

映像を拡大する

[ズーム] を押す。

ボタンを押すごとに、拡大の倍率が変わります (1.5 倍 /2 倍)。

お知らせ

JPEG ファイルの解像度やフォーマットによってはズームが働かない場合があります。

映像を回転・反転表示する

静止画を再生中に :

- [◄]/[►] を押すごとに 90° 回転します。
- [▲] を押すごとに画像が上下反転します。
- [▼] を押すごとに画像が左右反転します。

サムネイルから JPEG ファイルを選ぶ

1. コントロール画面で JPEG ファイルの選択中に、[サムネイル / リスト] を 1 秒以上押す
2. [▲]/[▼]/[◄]/[►] を押してファイルを選び、[決定] を押す
   - [►►I] または [I◄◄] を押して、サムネイル画面を切り換えることができます。

JPEG ファイルを連続再生する（スライドショー）

コントロール画面で JPEG ファイルの選択中に、[►(再生 / 選択)] を押す

- スライドショーの効果を設定するには
  「SLIDE EFFECT MODE:」がテレビ画面に表示されるまで [アングル - スライドエフェクト] を押す。ボタンを押し続けるごとに、画像の表示方法が変化します。11 種類の効果、ランダム選択 (RAND)、効果なし (NONE) を選べます。
  「プログレッシブ」方式の JPEG ファイルでは、スライドショーの効果を変えることはできません。

初期設定を変更する

お好みや本機をお使いの状況に合わせて初期設定を変更できます。

初期設定メニューを表示する

1 **[設定] を押す**

2 **[◄]/[►] を押して初期設定メニューを選ぶ**

3 **[▲]/[▼] を押して項目を選ぶ**

4 **[決定] を押す**

5 **[▲]/[▼] を押してお好みの設定を選び、[決定] を押す**

設定メニューを消すには

[設定] を押します。

お知らせ

- 再生中は変更できない項目があります。
- MP3ファイルの再生中は初期設定メニューを表示できません。
- 初期設定メニューの上下部分が隠れた状態で表示されるときは、テレビ側で画面サイズを変更してください。
- 言語メニューやパレンタルロックメニューについては、「言語コード一覧」や「カントリーコード一覧」もご覧ください。
- ディスクによっては設定が働かない場合もあります。

言語メニュー

項　目	設　定　内　容
メニュー言語	DVD のメニュー画面に表示される言語を選びます。
音声言語	DVD の音声言語を選びます。
字幕言語	DVD の字幕言語を選びます。
画面表示言語	設定メニューなどの画面上に表示される表示言語 (日本語または英語) を選びます。

映像メニュー

項　目	設　定　内　容
TVタイプ (16:9 / レターボックス / パンスキャン)	ワイド画面で収録された DVD を再生するときの画面サイズを選びます。お使いのテレビに合わせて選びます。 **[16:9]:** ワイドテレビ（縦横比 16:9）と接続したとき、この設定にします。 **[レターボックス]:** 通常のテレビ（縦横比 4:3）に接続したとき、この設定にします。上下に黒い帯がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。 **[パンスキャン]:** 通常のテレビ（縦横比 4:3）に接続したとき、この設定にします。左右両端が切り取られた状態で映ります。上下に黒い帯は映りません。
映像ソース	ディスクに収録されている映像素材に応じて、最適な画質で再生するための設定を選びます。 **[オート]:** 素材のタイプ（ビデオ / フィルム）を自動判別します。通常はこの設定にします。 **[フィルム]:** フィルム素材の再生に適しています。 **[ビデオ (ノーマル)]:** 動きの少ないビデオ素材の映像の再生に適しています。 **[ビデオ (アクティブ)]:** 動きの激しいビデオ素材の映像の再生に適しています。
スクリーンセーバー	画面の焼き付きを防止するスクリーンセーバーを使うか (オン)、使わないか (オフ) を選びます。
背景画面	本機のオープニング画面を変更するときや、新しい画面を登録するときに選びます。 **[標準]:** お買い上げ時のオープニング画面を表示します。 **[ユーザー]:** 登録した画像をオープニング画面として表示します。 **[読み込み]:** お好みの JPEG ファイルを表示中にこの項目を選んで [決定] を押すと、画像を登録できます。

音声メニュー

項　目	設　定　内　容
デジタル OUT	デジタル音声接続しているアンプまたはデコーダーに合わせて設定します。 **[PCM のみ]:** アンプまたはデコーダーにドルビーデジタルと DTS のどちらのロゴもついていない場合や、MD レコーダーなどを接続している場合に選びます。 **[DOLBY DIGITAL/PCM]:** アンプまたはデコーダーにドルビーデジタルのロゴがついているが、DTS のロゴはついていない場合に選びます。 **[ストリーム /PCM]:** アンプまたはデコーダーにドルビーデジタルと DTS の両方のロゴがついている場合に選びます。
アナログダウンミックス	マルチチャンネルサラウンド音声で収録された DVD を正しく再生できるように、接続する機器に合わせて選びます。 **[ドルビーサラウンド]:** 本機のアナログ音声出力をドルビーサラウンド対応のアンプやデコーダーに接続するとき、この設定にします。 **[ステレオ]:** 本機のアナログ音声出力を通常のステレオアンプやテレビに接続するとき、あるいは MD やカセットに録音するとき、この設定にします。
D レンジコントロール	ドルビーデジタルの音声が収録された DVD を中または低音量で再生するときの設定です。 **[ワイドレンジ]:** 迫力ある音声でお楽しみになれます。 **[ノーマル]:** 通常はこの設定にします。 **[TV モード]:** DVD 再生の音がテレビの音より小さく感じられるときに選びます。
出力レベル	アナログ音声出力のレベルを小さくするときに使います。スピーカーからの音が割れる場合には「小」を選びます。

その他メニュー

項　目	設　定　内　容
リジューム	リジューム再生を使うか、使わないかを選びます。 **[オン]:** リジューム機能が働きます。ディスクを取り出すまで停止位置を記憶します。 **[オフ]:** リジューム機能は働きません。 **[ディスクリジューム]:** 最大 10 枚までのディスクにリジューム機能が働きます。ディスクを取り出しても停止位置を記憶します。
オンスクリーンガイド	オンスクリーンガイドを表示するか、表示しないかを選びます。
オートスタンバイ	60 分または 30 分間、本機の停止状態が続いたとき、本機の電源を自動的に「切 (スタンバイ)」にするか、しないかを選びます。
パレンタルロック (パレンタルロック / カントリーコード JP / セットレベル なし / パスワード / EXIT)	選んだあとに [決定] を押すと、パレンタルロックメニューが表示されます。ディスクが対応しているときに視聴を制限することができます。 **[カントリーコード]:** 一覧表を参考にカントリコードを選びます。 **[セットレベル]:** 視聴制限のレベルを決めます。数値が小さいほど厳しくなります。 **[パスワード]:** 数字ボタン（1 ～ 9、0）を押して 4 ケタの数字を入力します。 **[EXIT]:** [決定] を押すとその他メニューに戻ります。 **お知らせ** • パレンタルロックを厳しく設定している場合、ディスクによっては全く再生できないことがあります。このようなときは、パレンタルロックを一時的に解除することができます。解除するには、「一時解除する」を選び、[決定] を押したあとにパスワードを入力してください。解除しないときはディスクを取り出してください。 • 設定を変更するにはパスワードを入力する必要があります。 • 現在のパスワードを忘れてしまったときは「8888」を入力してください。

故障かな？と思ったら

電源

電源が入らない

➡ 電源コードが外れていないか確認してください。

操作

「リージョンコードエラー！」とテレビ画面に表示される

➡ DVD のディスクに設定されたリージョン番号と、DVD プレーヤーのリージョン番号が合っていません。

正しく動作しない

➡ 雷や電子ノイズでマイコンが誤動作しているおそれがあります。いったん電源を「切」にし、しばらく待ってから電源プラグを接続し直してください。

➡ 暖房を始めた直後や、寒いところから急に暖かいところへ移動したことによって本機の内部に水滴がついているおそれがあります。電源を入れたまま放置し、1 ～ 2 時間してからディスクを入れてください。

➡ 本機で再生できないディスクを再生しようとしています。ディスクを確認してください。

表示窓に「LOCK」が 表示され、ディスクトレイが出てこない

➡ 電源が「切」のとき、本体の [■] を押しながら、本体の [⏏] を押すとディスクトレイがロックされます。解除するには、もう一度同じ操作を行います。

映像

映像が乱れる

➡ 本機とテレビの間にビデオデッキを接続していませんか？
ディスクによっては「映像ソース」が「フィルム」または「オート」のとき映像がぼやける場合があります。そのときは「映像ソース」を「ビデオ (ノーマル)」か「ビデオ (アクティブ)」に設定してください。

D 映像端子や S 映像端子を使うと映像が歪む

➡ D映像端子とS映像端子がどちらも接続されています。使わない方の接続を外してください。

映像が出ない、歪むまたは 2 つに分かれる

➡ 接続しているテレビがプログレッシブスキャンに対応していない可能性があります。
[プログレッシブ -VFP] を押して本機のスキャンモードを「インターレース」方式に設定してください。

音声

テレビの音声にくらべて、DVD ビデオの音量が小さい。

➡ 音声メニューで、D レンジコントロールの設定を「TV モード」にしてください。

アナログ音声が割れる

➡ 音声メニューで「出力レベル」の設定を「小」にしてください。

MP3/JPEG

映像または音声が出ない

➡ パケットライト方式（UDF ファイル）で記録された MP3/JPEG ファイルは再生できません。本機で再生できるファイルか確認してください。

ファイル (トラック) が記録したときと異なる順番で再生される

➡ 本機はファイルをアルファベット順で再生します。記録した順番とは異なる順番で再生される場合があります。

主な仕様

一般

再生可能ディスク
DVD ビデオ、DVD-R/-RW (ビデオフォーマット)、+R/+RW (DVD ビデオモード)、スーパービデオ CD、ビデオ CD、オーディオ CD (CD-DA)、CD-R/RW (スーパービデオ CD、ビデオ CD、CD-DA、MP3/JPEG)

映像信号方式 JEITA 標準、NTSC カラーテレビジョン方式

電源 AC 100 V、50 Hz/60 Hz 共用

消費電力 10.0 W (電源「入」時)、0.9 W (電源「切（待機）」時)

質　量 1.5 kg

最大外形寸法（幅×高さ×奥行）
435 mm x 44 mm x 201.5 mm

映像出力端子

映像（コンポジット）
1.0 V(p-p)/75 Ω

S1 映像　Y 出力 : 1.0V(p-p)/75 Ω
C 出力 : 0.286V(p-p)/75 Ω

D1/D2（コンポーネント）映像
Y 出力 : 1.0V(p-p)/75 Ω
P_B/C_B、P_R/C_R 出力 : 0.7V(p-p)/75 Ω
水平解像度 : 500 本以上

音声出力端子

アナログ出力 : 2.0 Vrms (10 kΩ)

デジタル出力 : PCM/ ストリーム（光）
－ 21 dBm ～ － 15dBm (ピーク)

オーディオ特性

周波数特性 :
CD (サンプリング周波数 44.1 kHz): 2 Hz ～ 20 kHz
DVD (サンプリング周波数 48 kHz):
2 Hz ～ 22 kHz (DTS およびドルビーデジタルビットストリーム信号時は 4 Hz ～ 20 kHz)
DVD (サンプリング周波数 96 kHz): 2 Hz ～ 44 kHz

ワウ・フラッター 測定限界 (± 0.002% W.PEAK) 以下 (JEITA)

全高周波ひずみ率 0.009% 以下 (JEITA)

- JEITAは電子情報技術産業協会に定められた測定方法による数値です。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本機は日本国内のみ使用できます。
  外国では、放送方式、電源が異なりますので使用できません。
  This DVD Player is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

カントリーコード一覧　その他メニューの「パレンタルロック」を設定するときに使います。

コード	国名
AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island

コード	国名
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands
FM	Micronesia (Federated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland

コード	国名
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius

コード	国名
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal

コード	国名
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Vietnam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

言語コード一覧　音声や字幕の言語を切り換えたり、設定するときに使います。

AA アファル語
AB アブバジア語
AF アフリカーンス語
AM アムハラ語
AR アラビア語
AS アッサム語
AY アイマラ語
AZ アゼルバイジャン語
BA バシキール語
BE ベラルーシ語
BG ブルガリア語
BH ビハーリー語
BI ビスラマ語
BN ベンガル語、バングラ語
BO チベット語
BR ブルトン語
CA カタロニア語
CO コルシカ語
CS チェコ語
CY ウェールズ語
DA デンマーク語
DZ ブータン語
EL ギリシャ語
EO エスペラント語
ET エストニア語
EU バスク語
FA ペルシャ語
FI フィンランド語
FJ フィジー語
FO フェロー語
FY フリジア語
GA アイルランド語
GD スコットランドゲール語
GL ガルシア語
GN グアラニ語
GU グジャラード語
HA ハウサ語
HI ヒンディー語
HR クロアチア語
HU ハンガリー語
HY アルメニア語
IA 国際語
IE 国際語
IK イヌピック語
IN インドネシア語
IS アイスランド語
IW ヘブライ語
JI イディッシュ語
JW ジャワ語
KA グルジア語
KK カザフ語
KL グリーンランド語
KM カンボジア語
KN カンナダ語
KO 韓国（朝鮮語）
KS カシミール語
KU クルド語
KY キルギス語
LA ラテン語
LN リンガラ語
LO ラオス語
LT リトアニア語
LV ラトビア語、レット語
MG マダガスカル語
MI マオリ語
MK マケドニア語
ML マラヤーラム語
MN モンゴル語
MO モルダビア語
MR マラータ語
MS マライ（マレー語）
MT マルタ語
MY ミャンマー語
NA ナウル語
NE ネパール語
NL オランダ語
NO ノルウェー語
OC プロバンス語
OM （アフォン）オロモ語
OR オリヤー語
PA パンジャブ語
PL ポーランド語
PS パシュトー語
PT ポルトガル語
QU ケチュア語
RM ラエティ-ロマン語
RN キルンディ語
RO ルーマニア語
RU ロシア語
RW キニヤルワンダ語
SA サンスクリット語
SD シンド語
SG サンド語
SH セルボアクロアチア語
SI シンハラ語
SK スロバキア語
SL スロベニア語
SM サモア語
SN ショナ語
SO ソマリ語
SQ アルバニア語
SR セルビア語
SS シスワティ語
ST セストゥ語
SU スンダ語
SV スウェーデン語
SW スワヒリ語
TA タミール語
TE テルグ語
TG タジク語
TH タイ語
TI ティグリニャ語
TK トゥルクメン語
TL タガログ語
TN セツワナ語
TO トンガ語
TR トルコ語
TS ツォンガ語
TT タタール語
TW トウィ語
UK ウクライナ語
UR ウルドゥー語
UZ ウズベク語
VI ベトナム語
VO ヴラピュク語
WO ウォロフ語
XH コーサ語
YO ヨルバ語
ZU ズール語

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広S.S.	(0155)24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森S.C.	(017)723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.C.	(023)642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋S.C.	(027)255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸S.C.	(029)246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷S.C.	(03)5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬S.C.	(03)3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03)5631-2235	墨田区八広5-11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜S.C.	(045)651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜T.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	長岡市下条2-1366-1
長野	長野S.C.	(026)221-6583	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津S.S.	(055)922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山S.S.	(076)425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良S.S.	(0742)35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪S.C.	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(072)254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06)6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺S.S	(0739)22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸S.C.	(078)252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(084)931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	周南市野上町2-35
島根	山陰ビクター販売(株) 松江S.C.	(0852)31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売(株) 鳥取S.S.	(0857)23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松S.C.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.S.	(088)622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡佐賀	福岡S.C.	(092)431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0105

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間: お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

左記の「故障かな？と思ったら」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクも一緒にご用意ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名/型名	DVDプレーヤー/XV-P313
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎ (　　)　　-

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お願い

本機の故障または不具合等によりディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したため発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

■この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
左記をご覧ください。	フリーダイヤル 0120－2828－17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話 (045) 450－8950 FAX (045) 450－2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

© 2005 Victor Company of Japan, Limited

0305MOC-MW-SC